

平成 22 年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・前期・A群
	対象学科・専攻	情報工学科
情報応用演習 (Exercises in Information Applications)	担当教員	情報工学科各教員
	教員室	
	E-Mail	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	実験・演習 / 学修単位[講義] / 3単位	
週あたりの学習時間と回数	[授業(150分) + 自学自習(300分)] × 18回	
〔本科目の目標〕 情報工学関連のさまざまな分野における、より専門化された実験・実務を体験し、検討することによって実践的な能力の向上を図る。		
〔本科目の位置付け〕 実験のテーマにより重点的に必要となる科目は異なるが、1年次から5年次までの全授業科目が関連する。		
〔学習上の留意点〕 (1) グループ単位の実験であることを生かし、各自が実務能力の向上に努めること。 (2) 各テーマとも指導書の予習を行い、内容を理解した上で実験に臨むこと。 (3) 報告書は自らの理解に基づき執筆し、期限内に提出すること。 (4) 1テーマを2週間(8時間)で行い、巡回方式で指定された実験を7テーマ行う。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目(予定)	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
オリエンテーションとグループ編成	4	
画像処理プログラミング(加治佐)	8	Visual C#を用いて画像処理入門のプログラミングができる。
C言語応用プログラミング(榎園)	8	パズルを解くプログラムやゲームプレイングプログラムの作成を通してAIプログラムへ応用できる。
聴覚実験(マスキング)(幸田)	8	MDなどに利用されているマスキング効果について理解できる。
UNIX 応用プログラミング(堂込)	8	UNIX の主要ツールの使い方およびC言語によるシステムコールの使い方を理解できる。
論理プログラミング(新徳)	8	宣言的言語と手続き型言語との違いを理解し、基本的な論理プログラムを説明できる。
ネットワークシステム(1)(豊平)	8	PCのネットワーク関連ツールの使い方を理解し、応用できる。
ネットワークシステム(2)(玉利)	8	ルータの設定を行なうことにより、ルーティングの仕組みを理解できる。
ネットワークシステム(3)(入江)	8	DNS の設定を行なうことにより、ネームサーバの設定ファイルの役割やDNSの仕組みを理解できる。
ネットワークシステム(4)(濱川)	8	DHCPの仕組みを理解し、トラブルシューティングに応用できる。
ネットワーク応用(武田)	8	メールのプロトコルを理解できる。 インターネットにおける通信や、分散並列処理を理解する。
〔教科書〕 各指導教員の指示する教材		
〔参考書・補助教材〕 同上		
〔成績評価の基準〕 レポート成績(100%) - 実験態度(最大20%)、但し、レポートの未提出が1件でもある場合は60点未満の評価点とする。提出遅れは減点の対象となる。		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 1-b, 3-c, 4-a		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 3-3		
〔JABEEとの関連〕 (d)(2)b		